

鉄道友の会埼玉サークルは発足50周年を迎えました

1970年(昭和45年)2月に発足した鉄道友の会埼玉サークルは、50年を迎えました。長い間ご支援ご協力いただいた多くの皆様に心よりお礼申し上げます。



今月の例会は発足50周年記念例会として開催します。記念講演は公益財団法人交通協力会顧問・鉄道百五十年史編集委員の菅 建彦さんをお迎えして、現在進行中の鉄道百五十年史プロジェクトについてお話を伺います。

また、本日ご参加いただいた皆様全員に埼玉サークル50周年の記念プレートを贈呈いたします。鉄道グッズが当たる恒例の抽選会も行いますので、お楽しみください。

本日のスケジュール (このスケジュールは進行の都合により変更することがあります)

- 13:30 開会のご挨拶
- 13:40~13:50 情報交換・サークルからのお知らせ等
- 13:50~14:20 出席会員自己紹介
- 14:20~14:30 (休憩)
- 14:30~16:00 記念講演 菅 建彦さん「グローバル化時代の鉄道百五十年史プロジェクト」
- 16:00~16:20 (休憩)
- 16:20~16:50 鉄道グッズプレゼント
- 16:50 閉会のご挨拶

今月のみ参加費600円とさせていただきます。ご了承ください。

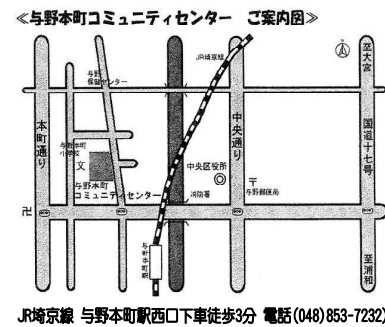
■月例会の予定

3月10日(火)、4月14日(火)、5月12日(火) 19:00~21:10
浦和コミュニティセンター 第4集会室 参加費:200円

■鉄道映像をみる会

埼玉サークル50周年を記念して、50年前の鉄道をモチーフとした長編映画の上映を予定しています。

日時 3月15日(日) 13:30~16:50
会場 与野本町コミュニティセンター 視聴覚室兼会議室
(JR埼京線与野本町駅西口下車 徒歩3分)
参加費 200円



■1月例会報告

1月12日(日)与野本町コミュニティセンター視聴覚室兼会議室 13:30~16:50 参加14名

情報交換 今年の国際鉄道模型コンベンションは、2020年東京オリンピック・パラリンピックで東京ビッグサイトが使えないため開催が中止となった。JR東海の次期新幹線車両N700Sの量産車仕様が決定、今年7月に営業運転開始の予定。2020年度12編成、2021年度14編成、2022年度14編成の計40編成が投入される。他

映像 鉄道ファンの年賀状2020、JR土讃線坪尻駅・2019東武ファンフェスタ他、東武・JR武蔵野線他、津軽鉄道、映画「雪に挑む」・映画「駅」

頒布資料 PALETTE(1月)、京王ニュース(1月)、HOT!ほっとTOKYU(1月)、ふれあいの窓(No.297)、さくらたび(Vol.16)、京成ライン(1・2月)、ほくそう(Vol.114)、Shupo(Winter2019.12-2020.3)、冬のリア・鉄道館、西Navi(1月)、K PRESS(1月)、NATTS(1月)、ホット!HANSHIN(1月)、TOKK(1.15)、山陰線浜坂駅周辺の鉄道遺産群、他パンフレット類



■埼玉サークル発足50周年記念鉄道模型運転会

埼玉サークル50周年を記念して鉄道模型運転会を開催します。今回は50周年記念ということで、お持ちいただく車両等も「50」に関したものに限定させていただきます。EF50、50系客車、500系新幹線等はもちろん、〇〇系1500番台等から、50日間で製作した、50000円で購入した、走行電流が500mA、等々「50」にこじつけていただければ結構です。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 4月5日(日) 10:30~16:30
会場 与野本町コミュニティセンター 第3・4会議室
参加費 200円

当日は9時から線路の敷設作業を行います。お手伝いいただける方は9時に会場へお越しください。

■埼玉サークル発足50周年記念旅行

埼玉サークル50周年を記念して、東武スペーシアの個室で行く1泊旅行会を企画しています。

期日 6月5日(金)~6日(土)予定
行程案 1日目 東武スペーシアの個室で東武日光へ。日光市営バスで足尾へ抜け宿泊
2日目 足尾銅山観光、古河足尾歴史館など見学、神戸駅のDRCレストラン清流で昼食、わたらせ渓谷鐵道經由東武特急「りょうもう」で帰埼玉

2020年 50年を迎えた埼玉サークル(8)

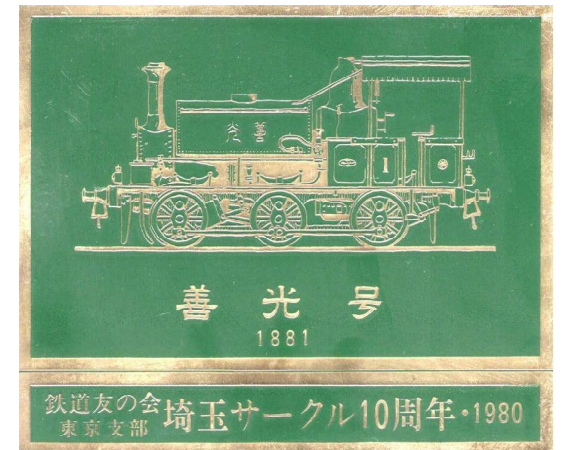
東京で56年ぶりにオリンピックが開催される2020年に埼玉サークルは発足50年を迎えました。会報にスペースがあるときに埼玉サークルの記録ファイルの中からかつての記録をご紹介します。

埼玉サークル発足10周年記念プレート(1981.7.14)

40年前の埼玉サークル発足10周年の記念品として、当初は絵皿を予定して絵柄には東京~前橋間の鉄道建設工事に用いたイギリスから輸入され、1882年に埼玉県を始めて走った陸蒸気「善光号」をデザインしました。しかし、絵皿の制作は予想以上に難航して10周年の1980年中には目処が立たず、翌1981年5月末に同じ絵柄でエッチング板に変更することで、ようやく同年7月初めに記念品としてプレートができました。

その後、20周年の1990年2月に「9600と大宮のレンガ庫」、30周年の2000年2月には「埼玉県を走る鉄道6社の車両前面」、40周年の2010年2月には「東武・JR東日本・西武の特急車」をデザインした記念プレートが制作されています。

プレートのデザインはすべて吉岡秀樹会員の手によるものです。



50年も活動を続けてこられ、この日を迎えられたことを大変嬉しく思っていますが、残念ながらこの場にいらっしやらない鬼籍に入られた多くの方々に思いを馳せています。発足当時19歳だった私も古希(満年齢ではなく数え年というそうです。残念ですが)を迎えました。

先月17日は阪神淡路大震災から25年。山陽新幹線の高架橋や阪神石屋川車庫高架留置線、JR六甲道駅や阪急伊丹駅などの高架駅等々が崩落、神戸高速の地下の大開駅崩壊他、安全性が高いといわれていた鉄道に大きな不安を抱いたことが思い出されます。明日のことは分かりませんが、今平穩に暮らす日々に、支えていただいた多くの方々に感謝しています。巷では新型コロナウイルスの感染で驚しいのですが、皆様もお気を付けください。(F)

埼玉サークルは、中高生会員の皆さんが参加しやすいよう、例会・行事の参加費を免除しています